

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



さいたま市立 大宮八幡中学校



本校は学校教育目標を「心豊かで たくましい 広い世界に生きる人間の育成～好奇心こそすべての始まり～」とし、ESD（持続可能な開発のための教育）の研究を推進しています。人権、環境、国際理解、多文化共生などの視点から地球規模の課題を生徒自身のこととして認識し、中学生として今何をしなければならないのかを足元から考える教育活動を通じて、「ESDの考えを生かした、自ら学び、考え、行動する生徒」の育成に取り組んでいます。



■所在地：さいたま市見沼区大字南中丸3-5-7 ■電話：048-687-8800
■FAX：048-687-9301 ■交通：アーバンパークライン 大和田駅徒歩18分

01 SDGs17の目標を意識した日々の授業実践

学校オリジナルのESDカレンダーに基づく教科横断的な授業



本校では、各教科等の授業において、SDGs17の目標と学習内容との関連を明確にした、本校オリジナル「ESDカレンダー」と「補助資料」を作成し、それに基づいて全職員が共通理解の下、SDGsを意識した授業実践に日々取り組んでいます。

02 国際教育（多文化共生）の充実

届けよう服のチカラプロジェクト



ユニクロからスタッフを招き、難民の現状や服のもつ力について学び、自分ができることを考え、着なくなった子供服を回収し世界の難民に送るというプロジェクトに取り組んでいます。また、国際教育学習会を通じて、世界の現実理解と多文化共生社会を実感するとともに日本の素晴らしさについて改めて知る活動も行っています。こうした活動を通じて SDGsの目標1「貧困をなくそう」や目標10「人や国の不平等をなくそう」に貢献していきたいと考えています。



届けよう服のチカラプロジェクト

03 人権教育・環境教育の充実

人権教育講演会・地域の社会教育施設（五反田会館）

との連携・認知症サポーター講習会の実施



本校では、新聞記者を招き、新聞を教材にSDGsを学ぶ授業や地域の社会教育施設（五反田会館）との連携、地域の方々や人権意識の高揚を図る人権講演会や生徒による人権朝礼などを行っています。また、高齢者にやさしいまちづくりを目指し、認知症サポーターキャラバンを実施しました。こうした活動を通じて、SDGsの目標11「住み続けられるまちづくりを」、目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」に寄与していきたいと考えています。



認知症サポーター講習会